

地元 GI 初制覇へ挑む

(中)

藤山翔大
(30)
大阪

物食いを狙う。藤山は前率で自己ベストの6・73をマークして7月からA1返り咲き。独自の伸び型調整に磨きをかけて、今年13優

出、3Vともにキャリアハイと大ブレークしている。

「前々期の期末、昨年の10月くらいですね。多摩川

で初日に6・3着を取ったときですね。4日間シリーズで優勝戦に乗れそうにない

1ヶ月かけて練習でもいろいろと試してみました」

3期前にA1初昇級を果たしたが1期でA2陥落。その屈辱も糧に、短期シリーズで手応えを得た伸びを

切ったのだ。「ずっと勉強

特化した独自路線へかじを

中と思って毎レース、ペラ

スタイルを貫いて一撃強襲へ集中力を研ぎ澄ませる。

また、伸び型の選手は助走距離を確保するため枠なり進入が基本。そんな常識を覆し、「いくときは展示かの破壊力は着実にライバルたちの脅威となっている。当然、伸び型にしたからといって勝てるほど単純なものではない。伸びの代償としてピット離れで後手に回ったり、手前の足が甘くなるのが常で、スタートが

を狙う点でも異彩を放つ。

「SGレーサーとか相手が強いほど動きたくなる。仕上がりたと思ったら動くことが多いし、そこは僕の個性ですかね。先輩でもひるむことはないし、まくることしか考えていません」

相手が強いほど燃える男にとつて初出場の地元GIはまさに打つて付けの舞台だ。強烈な個性を放つまぐり屋が、穴党歓喜の強襲劇でGI初制覇へ突き進む。

(小出大輔)

しづらくなるという声が一般的だ。その点でも多くの選手が事前のスタート特訓で勘の修正を図る中、「特訓にいくと(本番とは)何もかもが変わってきますからね。展示1本で一発勝負的にいっています」とマイ



伸び特化の調整で猛威を振るっている藤山。初出場の地元GIでも暴れ回る

9	/
2	木
3	金
4	土
5	日
6	月
7	火